

**対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力**  
**カニバダム行政郡中央病院産婦人科病棟改修計画 供与式報告**

平成27年5月15日、「カニバダム行政郡中央病院産婦人科病棟改修計画」の計画完了を記念する供与式がカニバダム行政郡中央病院産婦人科病棟にて行われました。供与式には、鎌田大使、カニバダム行政郡長、中央病院院長、そして多数の病院職員が参列しました。

本計画実施前、同病院建物は経年劣化による雨漏りが頻繁に発生し、建物内壁も腐食が進行している状態でした。加えて水道管および暖房設備もほとんど機能していない状態であったため、産前・産後の妊婦および新生児の冬季の入院環境は苛酷なものでした。また乳児の体温調節および呼吸補助を行う保育器不足も問題となっていました。

今般、本計画を通して、産婦人科病棟の全体改修および保育器3台の新規整備が行われたことにより、同病院を利用する年間平均約9,000人の妊産婦および新生児が快適な医療環境を享受できるようになりました。



本計画を通し、暖房設備も改修され、冬季も快適な病棟となりました。



整備された保育器には、日本の支援を示すステッカーが貼られています。



病棟の外観も一新されました。



供与式では日本の支援に対し、カニバダム行政郡長および病院長から大きな感謝が述べられました。